

メタバースを導入した不登校支援に関する情報提供依頼実施要領

I 基本事項

1. 提供を依頼する情報

本県において令和5年度から試行しているオンラインを活用した「フレキシスクール不登校支援ならネット」について、令和7年度以降の本格実施に向け、支援拡充を目的としたメタバース上での支援体制（以下、オンラインスクールという）構築の検討にあたって必要な情報。

なお、現行においては、Google Workspace for Education を活用し、Google サイト、Google クラウドルーム等を活用し、オンラインによる不登校支援を実施している。

2. 提出物

IIに示すとおり

3. 提出期限

令和6年10月16日（水）17時までに提出をお願いします。

4. 提出方法

5. に定める提出先へ電子メール、または持参により提出してください。

5. 提出先・お問合せ先

奈良県立教育研究所教育支援部 担当：香美（かがみ）、十亀（そがめ）

〒636-0343 奈良県磯城郡田原本町秦庄22-1

Tel: 0744-33-8904

e-mail: kyouikusoudan@office.pref.nara.lg.jp

6. その他

- ① 情報提供にかかる費用につきましては、各社にて負担いただきますようお願いいたします。
- ② 本件情報提供依頼において掲げている空間利用の基本条件は、実際にシステムを調達する際の仕様・要件定義と内容が一致するものではありません。各位から提供していただいた情報その他を総合的に勘案した上で、令和7年度4月頃に正式な仕様書を提示して調達を行う予定としています。
- ③ 提供された資料に関しては、返却しません。
- ④ 本RFIに伴い、本県が提供する資料及び質問回答の内容は、第三者への開示及び

他の用途への流用を禁じます。

II メタバース導入の基本条件

概要

・業務概要

オンライン上の不登校支援に係わる全てのメタバース空間（既存のコンテンツとの連結を含む）

1. 現行と課題について

現行の Google クラブルーム等を活用した「不登校支援ならネット」においては、不登校状態の中学生を対象に支援を行っている。入校を許可された生徒だけがログインできるサイトから、5教科及びホームルーム等のクラブルームでライブ授業やホームルーム活動に参加できる。また、Google Forms を活用した予約システムで予約することにより、個別支援を受けることもできる。加えて、サイト上に搭載されている AI 学習ドリルや動画コンテンツを活用し、生徒は自分のペースとスタイルで学習活動に取り組むことができる。生徒の活動状況は、生徒の所属校に報告され、取組内容が認められれば出席扱い等の評価を受けられる。

オンライン会議システムを活用した現行の支援は、マイク・カメラオフでも参加可能であり、ほとんどの生徒がマイク・カメラはオフのまま参加し、会話はチャットやリアクションボタンで行っている。また、MEET に入らない限り、他者とのコミュニケーションはできないため、生徒同士の出会いやつながりが生まれにくい。

このような状況にメタバースを導入することで、生徒の主体的な活動への参加や、大人数でも生徒の活動状況を把握できる。

2. メタバースシステムへの要求

・想定するシステム概要

- ・連結する外部コンテンツの変更やユーザビリティの向上のための変更に対応できるものであること
- ・児童生徒、教員共に、奈良県全域で児童生徒・教員が使用している @e-net.nana.jp アカウントを使用する。
- ・メタバースを使用する対象は、不登校状態にある小学生、中学生 250 名程度。オンラインスクール教員・スタッフは 10 名程度を想定。

・メタバースに期待する主な機能

- ・児童生徒・教員はアバターによってコミュニケーションをとる。

- ・「掲示板」でのスケジュールやイベント、連絡等を周知
- ・「学習ルーム」でのライブ授業（オンラインスクール教員による）
- ・「ラウンジ」でのオンラインイベント（月1回、企画・実施：委託）
- ・「スタッフルーム」にオンラインスクール教員や見守り支援員が待機
- ・見守り支援員2名（開校中は常時。児童生徒に声掛け支援：委託）
- ・2フロア（小学生フロア、中学生フロアの2段構造を想定）
- ・参加児童生徒ごとに活動状況を指定期間ごとにデータ抽出できる機能

※システム環境

- ・児童生徒は、PC・タブレットなどのブラウザ環境から、「いいネットなら」アカウントでログイン可能であること。
- ・教育研究所職員は、職場のPCから児童生徒の活動状況を確認できること。（IPアドレス制限もしくは多要素認証でセキュリティを担保できること。

・セキュリティ

- ・利用者のID登録・変更・抹消等を行う機能があること。
- ・SSL電子証明書を導入していること。
- ・クラウドの基盤がISMAPを取得している基盤を利用していること。
- ・データセンターが国内の法令及び裁判管轄が適用される場所にあること。

・想定するメタバース上での動き

● 児童生徒

- ・メタバースにログイン。
- ・掲示板でその日のオンラインスクールのスケジュールを確認。
- ・自分の興味・関心に基づいて、ライブ授業（Google Meet を活用し、オンラインスクール教員が行う）や、オンラインイベント（委託）に参加する。
- ・メタバース上に搭載されているAI学習ドリルや動画コンテンツ（教育研究所所蔵）を活用し、各自での学習活動に取り組む。
- ・メタバース上のラウンジやスタッフルームで、他の児童生徒や教員・支援員とアバターでコミュニケーションをとる。
- ・Google Forms による予約システム（既存）で予約すれば、個別支援を受けることができる。

● オンラインスクール教員

- ・メタバースにログイン。
- ・学習スペースにおいて、ライブ授業を行う。
- ・予約システムで予約が入れば、Google Meet で個別支援を行う。

- 教育研究所オンラインスクールスタッフ
 - ・メタバースにログイン。
 - ・ライブ授業やオンラインでの活動をサポートする。
 - ・メタバース空間での活動を全体的に管理する。
- 見守り支援員（委託）
 - ・メタバースにログイン。
 - ・参加児童生徒に声掛け等の支援を行う。
 - ・小学生用フロア、中学生フロアにそれぞれ1人ずつ配置。

Ⅲ ご提供いただく資料

1. 貴社概要

2. 提案可能サービスと体制、導入実績・導入規模

3. 提案概要とその優位性

（現行支援の拡充に対する提案）

- ・新サービス・システム概要説明
- ・基本的な仕様（OS、開発言語、システム方式、DB 等のミドルウェア、特徴等）
- ・新システム構成図・ハードウェア構成図
- ・新システム機能構成図、機能概要
- ・システム機能要件・非機能要件（セキュリティ等）
- ・システムのイメージ（画面・帳票サンプル）
- ・システム運用スケジュール（年間）

4. 概算見積書の提出

メタバース導入に要する費用の見積りを添付の「標準見積書様式」に従って作成し、提出してください。開発作業にかかる経費については、「(別紙) 開発スケジュール様式」に従って、作業項目ごとの開発スケジュールを作成し、添付してください。

なお、見積りにあたり、詳細条件又は追加条件等が必要な場合は、貴社で条件を設定し、それらを示したドキュメントを添付してください。